

やしお市議会だより

QRコードから市議会
ホームページに
アクセスできます!



主な 記事

●定例会レポート

平成30年度八潮市一般会計歳入歳出決算の概要、
討論、第3回定例会議案処理結果一覧表 ……2～3

●一般質問から

「子供の弱視の早期発見について」、「八潮市身寄りのない未成年者の就労に係る身元保証に関する条例について」、「学校教育審議会について」などの一般質問、意見書など ……4～7

●委員会のうごき

委員会のうごき、常任委員会等の新構成など ……8

令和元年11月 NOVEMBER.2019 NO.97

令和元年 第3回定例会報告号



副議長選挙投票のようす(9月20日)
※選挙投票のため、執行部職員の一部が退席しております。

第3回定例会の概要

令和元年第3回定例会(9月2日～20日)を開催しました。

定例会では、「平成30年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定について」など決算関係11議案、補正予算関係11議案、その他「八潮市会計年度任用職員の報酬等に関する条例について」など11議案、あわせて33議案と、委員会提出議案2議案を原案のとおり可決しました。

また、最終日には、議員提出議案3議案を原案のとおり可決し、更に、正副議長の辞職に伴い正副議長選挙を行いました。



篠原副議長



岡部議長

新しい正副議長が決まる

議長

岡部

かずまさ

議員

副議長

篠原

りょうた

議員

正副議長 就任のあいさつ

市民の皆様には、平素より市議会に対し、深いご理解ご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

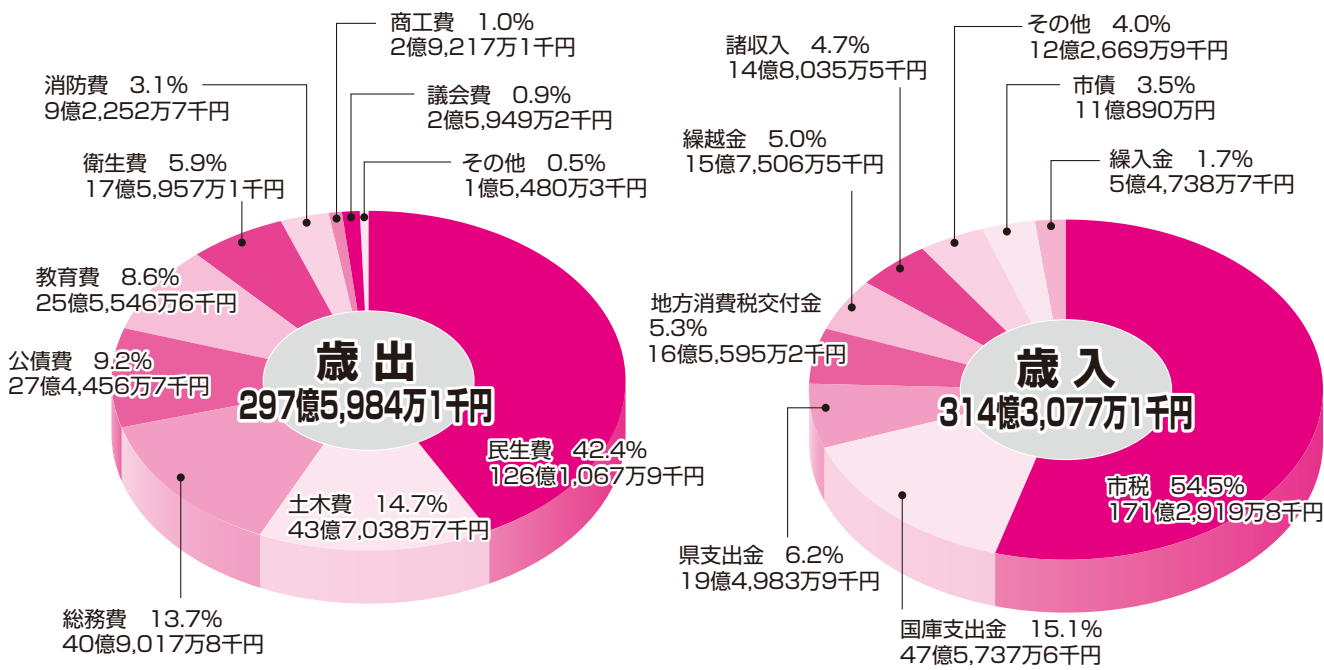
私たちは、去る9月定例会におきまして、多数の議員各位のご推挙により、議長並びに副議長に就任いたしました。

身に余る光栄であるとともに、その使命と責任の重大さを痛感しております。

二元代表制の一翼を担う議会として、市民の皆様の声にしっかりと耳を傾け、その声を市民福祉の向上並びに、街の活力の源であります農業・商業・工業の発展に生かしてまいります。

今後とも、市民の皆様におかれましては、市議会に対し、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年度八潮市一般会計歳入歳出決算の概要



平成30年度八潮市一般会計歳入歳出決算の歳入総額は、314億307万71千円、歳出総額は297億5984万1千円で、歳入歳出差引額は、16億7093万円でした。また、歳入歳出差引額から翌年度への繰越財源7746万1千円を差引いた実質収支額は、15億9346万9千円で、単年度収支額は、1億1370万3千円でした。なお、平成30年度八潮市一般会計歳入歳出決算の概要については次のとおりです。

討論

平成30年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定について、討論の概要をお知らせします。

反対討論（日本共産党）

平成30年度一般会計歳入歳出決算の認定について、反対の立場から討論します。

平成30年度決算では、小中学校への空調設備導入に向けた調査費用や就学援助事業では、中学生の新入学準備費が事前支給されました。また、市有地活用基本方針の策定等々の施策が実行されています。この間、議論してきたことが実を結んだものと認識しているところです。

さて、平成30年度一般会計決算の実質収支は15億9346万9千円の黒字になりました。黒字額自体は、ここ数年同じ規模になっていますが、決定的に違うことは、本決算が財政調整基金を取り崩さず財政運営ができたと言うことです。

また、実質単年度収支は8億7718万4千円で、平成12年度以来の高いものになっています。

決算状況表で基金の状況を見ると、基金は総額で50億3千万円、対前年度比で12億円余増額となっています。そのうち、約4億5千万円余が「その他の基金」となっています。

この結果、「その他基金」は30億円に到達しています。目的別基金も積立ながら、使途が定められていない財政調整基金も増やしていると言うことです。

これまでも度々指摘をしてい

れている意見も取り入れながら「簡素で機能的」、財政事情も考慮した庁舎建設にご留意頂くよう求めます。

各定例議会では、一般質問や質疑を通じて、多彩な市民要望が取り上げられています。これから要望に対し、市とすれば様々な側面から、その実現性を検討する必要があると思われますが、より実現する方向で市政運営に臨まれることをのべ討論とします。

賛成討論（平成クラブ）

平成30年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定について、賛成の立場から討論いたします。

平成30年度決算について、歳入総額では、314億3077万1683円で、予算に対する収入率は、101・1パーセントとなっています。歳入の大半を占める市税や財産収入などの自主財源は、歳入全体の68・2パーセントを占めておりますが、今後も引き続き、自主財源の確保に努めていただくことを望みます。

一方、歳出総額では、297億5984万986円で、予算に対する執行率は95・7パーセントとなっています。事業の必要性や優先度、事業効果などを踏まえ、予算化された事業については、概ね執行されており、引き続き、費用対効果を念頭に取り組むことを期待します。

平成30年度に実施された主な取り組みについて、企画財政関係では、八潮市ティセールス

PR動画を作製し、伝統行事および四季折々の多彩なイベントの内容を配信されたことは、今後市のイメージアップにつながっていくものと評価します。

また、「庁舎建設基本計画」の策定および庁舎整備基金に積み立てをされたことは、計画的な新庁舎の建設に向け、努力されていることが伺えます。

スポーツ・子育て関係では、スポーツ振興施策を総合的かつ効果的に推進するための指針となるスポーツ推進計画を策定されたことや、待機児童対策として、民間認可保育所3施設の整備に対する補助金を交付するなど、積極的に取り組んでいることが伺えます。

防災・防犯・交通関係では、水防資機材備蓄倉庫の整備および町会・自治会に対し、防犯灯の設置や修繕に対する補助金を交付され、引き続き、市の防災・防犯体制の強化が図られていくものと考えられます。

また、ハッピーこまちゃんをラッピングした新規車両のコミニティバスは、多くの方の目に留まり、利用者数の増加につながるものと期待しております。

農業・商工観光関係では、潮止揚水機場の跡地を整備したことで、潮止揚水機場の果たした役割や功績を後世に伝えられていくものと考えます。

また、駅周辺の商店を中心とした事業所に対し、商店街設置の意向調査を行ったことは、駅周辺の活性化につながっていく

（3面へ 続く）



右記の討論のほか、平成30年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定について、市民と市政をつなぐ会（反対）、平成30年度八潮市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について、日本共産党（反対）と公明党（賛成）、八潮市会計年度任用職員の報酬等に関する条例について、日本共産党（反対）と平成クラブ、市民と市政をつなぐ会（賛成）のそれぞれ討論がありました。

今後、新庁舎の建替えをはじめ、老朽化した施設等の再整備など、多額の財政需要が見込まれる中、引き続き、将来に向けた財源確保に取り組んでいただき、「住みやすさナンバー1のまち八潮」の実現に向け、各事業に積極的に取り組まれていくことを期待し、討論とします。

また、児童生徒の給食用の食器を全面入れ替えされたことは、さらなる食育の推進が図られていくものと期待します。

（2面から 続く）

●市長提出議案処理結果一覧表

※総文…総務文教、建水…建設水道、福環…福祉環境の略 【○は賛成、×は反対、－は欠席】										
議案番号	件 名	付託委員会	議決結果	平成	公明	共産	令和	市民	声は	維新
議案第49号	令和元年度八潮市一般会計補正予算(第3号)	付託省略	原案可決	○	○	○	○	○	-	○
議案第50号	平成30年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定について	総文・建水・福環	原案認定	○	○	×	×	×	-	○
議案第51号	平成30年度八潮市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	福 環	〃	○	○	×	○	○	-	○
議案第52号	平成30年度八潮市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	建 水	〃	○	○	○	○	○	-	○
議案第53号	平成30年度稻荷伊草第二土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	○	○	○	○	○	-	○
議案第54号	平成30年度鶴ヶ曽根・二丁目土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	○	○	○	○	○	-	○
議案第55号	平成30年度大瀬古新田土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	○	○	○	○	○	-	○
議案第56号	平成30年度西袋上馬場土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	○	○	○	○	○	-	○
議案第57号	平成30年度八潮南部東一体型特定土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	○	○	○	○	○	-	○
議案第58号	平成30年度八潮市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	福 環	〃	○	○	×	○	○	-	○
議案第59号	平成30年度八潮市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃	○	○	×	○	○	-	○
議案第60号	平成30年度八潮市上水道事業決算の認定について	建 水	〃	○	○	○	○	○	-	○
議案第61号	令和元年度八潮市一般会計補正予算(第4号)	総文・建水・福環	原案可決	○	○	×	○	○	-	○
議案第62号	令和元年度八潮市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	福 環	〃	○	○	○	○	○	-	○
議案第63号	令和元年度八潮市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	建 水	〃	○	○	○	○	○	-	○
議案第64号	令和元年度稻荷伊草第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃	○	○	○	○	○	-	○
議案第65号	令和元年度鶴ヶ曽根・二丁目土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃	○	○	○	○	○	-	○
議案第66号	令和元年度大瀬古新田土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃	○	○	○	○	○	-	○
議案第67号	令和元年度西袋上馬場土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃	○	○	○	○	○	-	○
議案第68号	令和元年度八潮南部東一体型特定土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃	○	○	○	○	○	-	○
議案第69号	令和元年度八潮市介護保険特別会計補正予算(第2号)	福 環	〃	○	○	○	○	○	-	○
議案第70号	令和元年度八潮市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	〃	〃	○	○	○	○	○	-	○
議案第71号	八潮市会計年度任用職員の報酬等に関する条例について	総 文	〃	○	○	×	○	○	-	○
議案第72号	八潮市公共下水道事業の設置等に関する条例について	建 水	〃	○	○	○	○	○	-	○
議案第73号	八潮市附属機関設置条例の一部を改正する条例について	総 文	〃	○	○	○	○	○	-	○
議案第74号	八潮市手数料条例の一部を改正する条例について	建 水	〃	○	○	○	○	○	-	○
議案第75号	八潮市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	福 環	〃	○	○	○	○	○	-	○
議案第76号	八潮市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について	〃	〃	○	○	×	○	○	-	○
議案第77号	八潮市印鑑条例の一部を改正する条例について	〃	〃	○	○	○	○	○	-	○
議案第78号	八潮市上水道事業給水条例の一部を改正する条例について	建 水	〃	○	○	○	○	○	-	○
議案第79号	市道路線の廃止について	〃	〃	○	○	○	○	○	-	○
議案第80号	市道路線の認定について	〃	〃	○	○	○	○	○	-	○
議案第81号	八潮市固定資産評価審査委員会委員の選任について	付託省略	原案同意	○	○	○	○	○	-	○

●委員会・議員提出議案処理結果一覧表

議案番号	件 名	付託委員会	議決結果	平成	公明	共産	令和	市民	声は	維新
議第9号議案	八潮市議会委員会条例の一部を改正する条例について	付託省略	原案可決	○	○	○	×	×	×	×
議第10号議案	八潮市議会会議規則の一部を改正する規則について	〃	〃	○	○	×	×	×	×	×
議第10号議案	八潮市議会会議規則の一部を改正する規則について(修正案)	〃	原案否決	×	×	×	○	○	○	○
議第11号議案	緊急防災・減災事業債の期間延長を求める意見書	〃	原案可決	○	○	○	○	○	-	○
議第12号議案	高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書	〃	〃	○	○	○	○	○	-	○
議第13号議案	会計年度任用職員制度の施行に伴う、国の地方自治体への十分な財政措置を求める意見書	〃	原案否決	×	×	○	○	○	-	○
議第14号議案	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書	〃	原案可決	×	○	○	○	○	-	○

※ 平成…平成クラブ、公明…公明党、共産…日本共産党、令和…令和の会、市民…市民と市政をつなぐ会、声は…声は力の会、維新…八潮維新の会

一般質問から

子供の弱視の早期発見について

Q 群馬県では県眼科医会の要請を受け、県内34市町村が2次検査で特殊な機器を使っ

2番 矢澤 江美子

て目のピン트가合う度数(屈折)を調べる「屈折検査」を導入し、3歳の段階で「弱視」を発見し治療につなげ成果が出ていると伺っている。埼玉県内でも昨年度から和光市や幸手市で導入され、従来の検査では見つからなかったケースも発見されるなど成果が報告されている。

全国的にも導入自治体が増えており、八潮市でも導入すべきと思うが、見解を伺う。

A 屈折検査を導入し、全員に屈折検査を実施すること

により、家庭での視力検査では見逃してしまうリスクを減らし、視力異常を早期に発見するには有効であり、実施している自治体においては成果を上げているものと認識しています。

Q 補聴器を利用されている方の「聞こえ」を支援する設備に「ヒアリンググループ」があります。

10番 鹿野 泰司

ヒアリンググループを庁舎や公共施設に整備するとともに、補聴器購入支援策の創設を求めたいと考えますがいかがでしょうか。

本市には、いずれも設置されておりませんが、令和2年度に見直し予定の次期「八潮市障がい者行動計画・八潮市障がい福祉計画」の策定の中で、「八潮市自立支援協議会」委員のご意見を伺いながら、調査検討してまいります。

Q 「住みやすさナンバー1」の実現に向けて、市長のリーダーシップのもと、八潮ブランドの販路拡大につなげるための取り組みについて、伺います。

6番 金子 壮一

A 八潮ブランドについては、ものづくりのまち八潮の知名度アップと地域経済の活性化を図るため、市内で造られた優れた製品を、市が平成28年度から認定しているもので、平成30年度までに9製品を認定しており、認定した製品について市内外に積極的に情報発信を行い、事業者の販路拡大につなげていく取り組みを行っています。

八潮ブランドを市長がPRしトップセールスした例として、平成29年度に東京国際フォーラムで開催された「ものづくり匠の技の祭典2017」、平成30年度に東京スカイツリーに開設された「Beautiful NIPPON」全国観光PRコーナーにおいて、外国人を含む多くの来場者に直接PR活動を行いました。

市としては、八潮ブランドの販路拡大につなげるために、市内外の各種イベント等で、今後取り組みを行ってまいります。

八潮メセナの施設料金について

Q 八潮メセナ施設利用料金ですが、市民の方から高いとの声を複数頂き、施設利用料金の価格設定はどの様にして決めているのか、土地の評価額からとも伺いましたが近隣の状況を含め、お伺いします。

18番 小倉 順子

ます。今後、より一層サービスの向上に努め市民の皆様が使いやすい施設の管理、運営に努めてまいりたいと考えております。

施設面積や建設コスト、利用料金の算定方法などに違いがあることから、ばらつきなども見られ、あくまでも一つの目安としてとらえるべきではありませんが、八潮メセナの利用料金につきましては、近隣施設と比べても、比較的、市民の方が使いやすい料金と考えており



市税等の納税方法について

Q 納税者にとって納税しやすい環境づくりを図っていくため、在宅でもインターネットを活用して納付できるようなサービスを導入すべきと考えるが、クレジットカード納付のお考えについて伺いたい。

4番 岡部 一正

A クレジットカード納付には、いくつかのメリットがある一方、既存システム等の大規模改修が必要で多額の費用がかかることや、納税者に手数料を負担してもらう可能性が有ることなどの課題があり、本市では導入に至っていません。

クレジットカード納付は、クレジット端末の普及等で、これらの機器を活用した納付方法が多様化しており、クレジットカード納付についても、スマートフォンを利用した決済サービスを提供する事業者が増え、導入費用も数年前に比べて安価なサービスが提供され始めています。

納税者が市税等を納付しやすい環境について、本市の実情に応じた整備を検討していきたいと考えています。

トップセールスによるまちづくり推進について

八潮ブランドを市長がPRしトップセールスした例として、平成29年度に東京国際フォーラムで開催された「ものづくり匠の技の祭典2017」、平成30年度に東京スカイツリーに開設された「Beautiful NIPPON」全国観光PRコーナーにおいて、外国人を含む多くの来場者に直接PR活動を行いました。

市としては、八潮ブランドの販路拡大につなげるために、市内外の各種イベント等で、今後取り組みを行ってまいります。

新学習指導要領の実施について

Q 学習指導要領の変更点と授業時数の確保について

14番 寺原 一行

A 今回の主な変更点といたしましては、外国語によるコミュニケーション能力の必要性が高まり、小学校では、3・4年生に年間、35時間の外国語活動が新設され、5・6年生においては、これまでの外国語活動が外国語科として教科化され、授業時間も35時間から70時間となりました。

その結果、授業日を増やすために、令和2年度より夏季休業日の期間を短縮して、第2学期を8月25日からとする方向性を示したところです。

また、小・中学校では、コンピュータセット等を活用したプログラミング教育など探求的な活動の充実を図る教育が必修



一般質問から

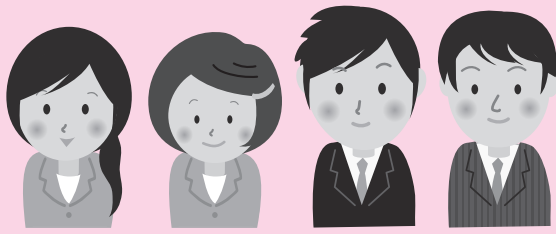
八潮市身寄りのない未成年者の就労に係る身元保証に関する条例について

Q 成年年齢を20歳から18歳に引き下げることを内容とする民法の一部を改正する法律が2022年4月1日から施行されます。どのような対応をされるのかお尋ねします。

A 市としては、これまで20歳未満の方を対象としておりましたが、関連施策の年齢要件等を踏まえ、今後も引き続き20歳未満の若年者を対象とする就労支援を続ける必要があると認識しています。

条例改正などの対応につきましても検討していきたいと考えております。

19番 森下 純三



投票する権利の保障について

Q 7月、8月に行われた参議院選挙、県知事選挙での八潮市の投票率は県内で最下位でした。投票する権利の保障について伺います。

①入院や施設入所している高齢者等の投票の結果と現状の取り組みについて

②駅前の期日前投票時間を午後8時まで延長できないか。

9番 池谷 正

なお、市外の施設では23施設です。

また、市内の指定施設での投票数は参議院通常選挙では35人、埼玉県知事選挙は27人でした。

②駅前の期日前投票所の投票時間の延長は、選挙の執行にかかわる事務全体に大きな影響を及ぼすことが懸念されますことから、駅前の期日前投票の終了時間の延長は、現在のところ考えておりません。

A ①市内で50床以上ある13施設のうち、申請に基づき不在者投票ができる病院施設は4カ所、今回、不在者投票を実施した施設は八潮中央総合病院、ケアセンター八潮、杜の家やしお、八潮いこいの里です。

保健事業・介護予防の一体的実施について

Q 来年4月から後期高齢者の保健事業と介護保険の地域支援事業が一体的実施となります。高齢者の心身の多様な課題に対応するため、広域連合と市町村の連携が必要となります。市の体制整備等の状況について伺います。

A 健診・医療・介護情報を把握できる国保データベースシステムや介護予防・日常生活圏域ニーズ調査のデータ等を活用して健康課題の整理・分析を行う、ショッピングセンター等の日常生活拠点での健康相談等を行うなどが国から示されて

17番 郡司 伶子



います。情報が少ない中で、ガイドラインや県後期高齢者医療広域連合の対応を踏まえ、既存の事業も活用しながら、関係各課が連携し、保健事業と介護予防の一体的な実施を進めていくことを考えています。

幼児教育・保育の無償化について

Q 10月からスタートする幼児教育・保育の無償化は八潮市の子育て環境に対し、多大な影響を及ぼすことは明らかであり、影響を考慮した子ども・子育て支援事業計画の策定が必要であると思います。

ベビーシッターなど、認可外保育施設等の安全性を確保するための対策等について伺います。

1番 大泉 芳行

ベビーシッターは施設を持ち合わせておりませんので、年1回、市の保育課に来庁頂き、運営状況が記載されております調査書の確認、面談による指導監督を実施することで保育の安全性の確保に努めております。

なお、認可外保育施設の案内については、保育課窓口や各保育所で配布し、市のHPに公開している「保育のしおり」にも施設の概要を掲載しております。また、各認可外保育施設等で作成して頂いた案内チラシも、保育課窓口で配布しております。

A 令和元年9月1日現在、認可外保育施設7カ所、ベビーシッター1カ所ございます。市では「認可外保育施設調査」の提出、年1回、施設への立ち入り調査を実施するとともに、

中学生への英検受験費の補助について

Q 本市では小中一貫教育をはじめ様々な施策の実施と関係各位の皆様のご尽力により大きな成果を上げつつあるものと高く評価し、八潮をふるさととする者の一人として感謝の意を表するものでございます。その上げ潮の流れを後押しする方策の一つとして中学生への英検受験費の補助を実施するお考えについてお聞きます。

A 来年度から小学校5・6年生の外国語科が全面实施となります。社会の急激なグローバル化進展の中、英語は国際共通語であり、英語力の向上は

11番 鈴木 貞夫

日本の将来にとって極めて重要であると考えます。その資格が、学校や企業、実社会で評価され価値を持つ英語検定は、児童生徒の英語力を図る指針となり、目標に向かって努力する態度を養うとともに、英語力向上と自己肯定感の高まりにつながるツールの一つであると言えます。

他市の動向を踏まえ、英語検定をはじめとした諸検定における受験費補助の実施につきましましては、今後、調査・研究してまいります。

発達障がい児の早期発見・早期療育について

Q 発達障がい児が疑われる場合の支援について

A 保護者からの相談や健診等で発達に関する相談を受けた場合、まず「すこやか相談」をご案内し、専門医等による相談につなぎ、その後の支援の方向性を決めております。

「すこやか相談」の結果、発達障がい疑われる場合には、保護者の希望も確認しながら、専門機関を紹介するなどして継続して相談が受けられるよう支援をしております。

主な紹介先としては、本市の心身障害児訓練施設「のぞみ」

12番 前田 貞子

や、近隣5市1町で設置する「中川の療育センター」、 「民間の療育機関」などがあります。

また、療育機関等へつながった後も、状況により地区担当保健師が電話や訪問、来所相談により、療育状況や心配事等を確認し、保護者に寄り添いながら継続した支援に努めております。



一般質問から

学校教育審議会について

Q 学校適正配置の今後についてお考えをお聞かせください。

A 学校教育審議会では児童生徒数の推移、アンケート調査分析、適正規模、通学距離、開発の動向など幅広くご意見を頂いております。南部地区の大規模校対策としては、一つ目として、アンケートの結果で、「通学区域の弾力化」「学校区の変更」「現在の学校を分離・新設」が最も適切と考えていることがわかりました。とりわけ大瀬小学校の保護者の多くは、大規模校対策では「学校の分

7番 篠原 亮太

離・新設が最も良い」と考えていることが調査結果より明らかになりました。二つ目として、大瀬小学校の児童生徒数の推移では、30年後の2048年でも、必要普通教室数は現在使用可能な教室数を上回る推計となっております。

今後とも審議を重ね答申を頂く予定となっておりますので、パブリックコメント等を経て、できるだけ早く八潮市学校適正配置指針・計画の策定をしたいと考えております。

新学習指導要領について

Q ①社会に開かれた教育課程とはどのような事なのか

A ①学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有し、学校において学習内容を明確にし、社会と連携・協働し開かれた学校教育を実現するための教育計画です。②教員主導の授業ではな

5番 川井 貴志

く、児童生徒主体の学びへの転換があげられます。③小中学校の教員を対象に講師を招聘（しようへい）した実践的な研修を昨年度から実施し、円滑な授業実施に向けて準備を進めています。⑤タブレットパソコンを各校に1クラス分ずつ、指導者用タブレットパソコンを各校に1台ずつ整備しました。また、全校の校舎内に無線LANを整備し、普通教室等で超高速インターネットが利用できるようになりました。

意見書

定例会最終日に、掲載の意見書を原案のとおり可決しました。なお、可決した意見書は、関係機関に送付しました

緊急防災・減災事業債の期間延長を求める意見書

緊急防災・減災事業債については、地方公共団体が引き続き喫緊の課題である防災・減災対策に取り組んでいけるよう、2017年に東日本大震災に係る復興・創生期間である2020年度まで延長されたところです。

令和元年9月20日
埼玉県八潮市議会
提出先
内閣総理大臣
衆議院議長
参議院議長
財務大臣
総務大臣

高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書

東京・池袋で87歳の高齢者が運転する車が暴走し、母子2人が亡くなった事故以降も高齢運転者による事故が続いている。

特に避難所の整備としては、学校体育館へのエアコン設置要望が高まり、埼玉県内でも計画的な整備を検討する自治体が増えております。

また、消防防災体制の充実では、消防広域化に伴う消防署等の整備事業等を含め、計画策定において重要であり、期間の延長が求められております。

緊急防災・減災事業債は、①地方債の充当率100パーセント、②交付税措置Ⅱ元利償還金についてその70パーセントを基準財政需要

額に算入、という地方公共団体にとって極めて重要な財源保障となっています。

よって、国におかれては地方公共団体にとって喫緊の課題に取り組んでいけるよう、緊急防災・減災事業債を2020年度以降も継続できるように要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

その他の一般質問事項

※数字は議席番号です

②（仮称）八潮市プラごみゼロ宣言への取り組みについて②中学校制服の選択制について②職員・被扶養者へのマイナンバーカードの一斉取得の推進について⑩庁舎建設について⑥教室不足に対する新設校の設置計画について⑥八潮南部西地区の1号近隣公園の整備計画について⑧「持続可能な開発目標（SDGs）」について⑧食品ロス削減推進法の成立をうけて、本市の取り組みについて⑧県道越谷、八潮線、産業道路について⑬放置自転車対策について⑬バス停留所について⑬潮止通り・木曽根南川崎区間の拡幅について⑬八潮駅前シェルターの管理について⑬福祉SOSゲームの取り組みにつ

いて⑪防災・減災について⑪八潮市施行の区画整理事業について⑪「断らない相談支援」について⑨子ども医療費助成制度の拡充について⑨中川小学校隣地にコミュニティセンター建設の計画について①いじめに対する取り組みについて①八潮市の防災について①認知症対策について②子どもの為の安全な公園づくりについて②やしお市民生活ガイドブックについて②2020東京オリンピック・パラリンピック教育について⑦オリンピック・パラリンピックについて⑦交通安全について⑦職員の対応について⑤ブロックチェーン技術の活用について

（質問順に掲載）

●次回の第4回定例会（12月）の日程（案）●

12月2日（月）	本会議 開会、開議、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸報告、議案の上げ及び提案理由の説明など
10日（火）	本会議 総括質疑（議案に対する質疑）、議案の委員会付託
11日（水）	総務文教常任委員会
12日（木）	建設水道常任委員会
13日（金）	福祉環境常任委員会
16日（月）	本会議（一般質問）
17日（火）	本会議（一般質問）
18日（水）	本会議（一般質問）
19日（木）	本会議 委員会報告、質疑、討論、採決など、閉会

※この定例会日程は予定ですので、変更する場合があります。

警察庁は、昨年末時点で約563万人いる75歳以上の運転免許保有者が、2022年には100万人増えて663万人に膨らむと推計している。

こうした状況を踏まえ、国は2017年施行の改正道路交通法で、75歳以上の免許保持者は違反時

（7面へ続く）



(6面から続く)

や免許更新時に認知機能検査を受けることを義務付けたが、いまや高齢運転者の安全対策及び安全運転支援の取り組みは待ったなしの課題である。

また、過疎地域をはじめとして「生活の足」としての車が欠かせない高齢者も多い中、自主的に免許を返納した場合などの地域における移動手段の確保も重要な取り組みである。

政府におかれては、地方自治体や民間事業者とも連携しながら、総合的な事故防止策としての、高齢運転者の安全運転支援と地域における移動手段の確保を進めるため、下記の事項について早急に取り組むことを強く求める。

記

1 自動ブレーキやペダル踏み間違い時の急加速を防ぐ機能など、ドライバーの安全運転を支援する装置を搭載した「安全運転サポート車」(サポートカーS)や後付けの「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」の普及を一層加速させるとともに、高齢者を対象とした購入支援策を検討すること。

2 高齢運転者による交通事故を減らすため、自動ブレーキなどを備えた「安全運転サポート車」(サポートカーS)に限定した免許の創設や、走行できる場所や時間帯などを制限した条件付き運転免許の導入を検討すること。

3 免許を自主返納した高齢者が日々の買い物や通院などに困らないよう、コミュニティ

バスやデマンド(予約)型乗合タクシーの導入など「地域公共交通ネットワーク」のさらなる充実を図ること。また、地方自治体などが行う、免許の自主返納時における、タクシーや公共交通機関の割引制度などを支援すること。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年9月20日

埼玉県八潮市議会

提出先

内閣総理大臣
総務大臣
経済産業大臣
国土交通大臣
国家公安委員会委員長

女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書

1979年国連において、あらゆる分野で女性が性に基づく差別を受けない権利と平等の権利を保証する女性差別撤廃条約が採択されてから40年が経ちました。日本は1985年に批准

して来年で35年になります。しかしながら各国における男女格差を測る「ジェンダーギャップ指数2018年」によると日本は149か国中110位と先進国のなかでも最低の状況です。

政府が女性の活躍を推進する一方で、財務省高官によるセクハラ疑惑やDVなどの性暴力、男女賃金格差や非正規雇用の問題、さらには大学の医学部入試

で女子の受験者に不利な得点操作の発覚など、日本の女性差別の根深さが明らかになりました。国連女性差別撤廃条約は現在189か国が締結し、さらに条約の実効性を高めるために、1999年女性差別撤廃条約選択議定書が採択され、締約国のうち112か国が批准しています。日本はまだ批准していません。

選択議定書は個人通報制度と調査制度の2つの制度があり、批准されれば、同条約に定められた権利の侵害に対して女性差別撤廃委員会に、個人又は集団で直接通報することができ、同委員会は通報に基づき調査や審議を行い、必要に応じて該当する締約国に対し勧告や、見解の提出を求めることができます。

選択議定書は女性の人権保障の「国際基準」として、条約の実効性確保に重要な役割を果たしています。日本が選択議定書を批准し個人通報制度を導入されればジェンダー不平等を無くするための効力が一層強まることが期待されます。

また、国の「第4次男女共同参画基本計画」には、「女性差別撤廃条約の積極的遵守に努める」「女性差別撤廃条約選択議定書の早期批准について真剣に検討を進める」と明記されており、さらに参議院で選択議定書の早期批准を求める請願が2001年から2016年の間に20回も採択されています。

政府は、女性たちの声を真摯に受け止め、男女平等を実現し

全ての人の人権が尊重される社会をつくるために、女性差別撤廃条約採択40年、選択議定書採択20年という節目に当たる本年こそ、選択議定書を批准するよう強く要望します。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年9月20日

埼玉県八潮市議会

提出先

内閣総理大臣
衆議院議長
参議院議長
法務大臣
外務大臣
内閣府特命担当大臣(男女共同参画)

公共施設整備等調査特別委員会

8月28日、第14回本委員会を開催し、別館庁舎の移転について、「新庁舎の議会機能について」審査し、協議を行いました。

9月19日、第15回本委員会を開催し、「別館庁舎の移転について」の報告を執行部より受け、また、「技術提案書に関する説明」「技術提案書を検討の出発点とすることについて」、「検討スケジュールについて」、「新庁舎の配置について」審査し、協議を行いました。

10月11日、第16回本委員会を開催し、「仮設駐車場の整備について」審査し、協議を行いました。

議会人事・構成

■東埼玉資源環境組合議会議員の変更

9月20日付けで、東埼玉資源環境組合議会議員の小倉順子議員の辞職に伴い、新たに岡部一正議員が選任されました。

■草加八潮消防組合議会議員の変更

9月20日付けで、草加八潮消防組合議員の朝田和宏議員、森下純三議員の辞職に伴い、新たに岡部一正議員、寺原一行議員が選任されました。

■議席の変更

9月20日付けで、朝田和宏議員が4番議席から13番議席へ、岡部一正議員が13番議席から4番議席へ変更となりました。

議案

■議案第81号 八潮市固定資産評価審査委員会委員の選任について

9月29日をもって任期満了となるため、八潮市固定資産評価審査委員会委員に清水 努氏(しみず つとむ、草加市氷川町)の選任について同意しました。

陳情

■陳情書 東海第二原発の再稼働に反対し廃炉を求める陳情

陳情者住所 東京都新宿区四谷本塩町

陳情者 原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟 会長 吉原 毅氏 顧問 小泉 純一郎氏 幹事長 河合 弘之氏

会派の構成

●平成クラブ(9人)

代表者 服部 清二¹⁵
所属議員 金子 壮一¹⁶
篠原 亮太⁷

林 雄一⁸
朝田 和宏¹³
寺原 一行¹⁴

大山 安司¹⁶
瀬戸知英子²⁰
荻野 清晴²¹

※9月20日付けで、代表者が大山安司議員から服部清二議員に変更になりました。

●公明党(5人)

代表者 小倉 順子¹⁸
所属議員 岡部 一正⁴
鈴木 貞夫¹¹

前田 貞子¹²
森下 純三¹⁹

●日本共産党(3人)

代表者 郡司 伶子¹⁷
所属議員 池谷 正⁹
鹿野 泰司¹⁰

●令和の会(1人)

代表者 大泉 芳行¹

●市民と市政をつなぐ会(1人)

代表者 矢澤江美子²

●声は力の会(1人)

代表者 福野未知留³

●八潮維新の会(1人)

代表者 川井 貴志⁵
※氏名の下の子は議席番号です。

委員会のうごき

総務文教常任委員会

委員会に付託された議案については、平成30年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定についての分割付託1議案、令和元年度八潮市一般会計補正予算（第4号）の分割付託1議案、その他2議案のあわせて4議案の審査を行いました。

平成30年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定については、「シティセールの動画を平成31年2月12日に配信開始後、どれくらいの視聴があったのか」との質疑に対して、「AR（拡張現実）とYouTubeの両方で視聴可能となっており、それぞれで「イチオシヤシオシ」と「やしおの魅力」の2本を配信している。令和元年8月末現在で、ARでは167件、YouTubeでは1823件、視聴されている」との答弁がありました。議案の審査結果については、4議案すべて可決すべきものと決しました。

建設水道常任委員会

委員会に付託された議案については、平成30年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定についての分割付託1議案、令和元年度八潮市一般会計補正予算（第4号）の分割付託1議案、その他18議案のあわせて20議案の審査を行いました。

平成30年度八潮市上水道事業決算の認定については、「漏水が増加している原因は」との質

疑に対して、「漏水には、道路や水道橋で発生した公道漏水や宅内での量水器（メーター）から官民境界までの宅内漏水がある。公道漏水は、81件で前年度に比べ1件減少し、宅内漏水は、323件で前年度に比べ48件増加した。漏水の主な原因は、特に給水管については、平成元年以前に設置したポリエチレンパイプの一層管の経年劣化の進行や、温度変化により夏場の水温が高い時期に、膨張し亀裂が入るなどして漏水が発生している。従って更新については、主に漏水が多発している路線や緊急性のある箇所を重点的に行っている。」との答弁がありました。議案の審査結果については、20議案すべて可決すべきものと決しました。

福祉環境常任委員会

委員会に付託された議案については、平成30年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定についての分割付託1議案、令和元年度八潮市一般会計補正予算（第4号）の分割付託1議案、その他9議案のあわせて11議案の審査を行いました。

平成30年度八潮市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定についてでは、意見として「決算資料でみると、国保税の一人当たり及び1世帯当たり調定額はいずれも県内40市中最高額です。一人当たりの県平均9万3千397円に対し、八潮市は11万17円、1世帯当たりの県平均

14万7千160円に対し、八潮市は17万7千665円です。さらに、加入世帯の50・49パーセントが軽減世帯という現状です。本決算は3億5千933万4千円と一般会計からの繰り入れなしで黒字となっています。加入者の負担軽減をはかることが望まれます。以上、意見を申し述べ反対します」との発言がありました。

平成30年度八潮市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定については、意見として「平成30年度から、所得割額の2割軽減の廃止、被扶養者均等割額の7割軽減が5割軽減に縮小されました。毎年毎年、軽減措置が縮小されていきます。本決算では、保険料収納率も下がってきています。被保険者の負担の軽減が強く求められ反対の意見とします」との発言がありました。

令和元年度八潮市一般会計補正予算（第4号）については、意見として「歳入は、平成30年度決算剰余金による繰越金を基金に積み立てる。歳出では、消費税増税に伴う幼児教育・保育の無償化関連です。まず、市民の要望実現を優先すべきと考えます。幼児教育・保育の無償化では、新たに保護者の負担、自治体の負担増となる懸念もあること、また高すぎる国保税引き下げのための繰り入れなどの施策を求め反対します」との発言がありました。議案の審査結果については、11議案すべて可決すべきものと決しました。

常任委員会委員等の新構成

（令和元年9月20日現在、議席番号順）

常任委員会名	委員長	副委員長	委員	
総務文教常任委員会	林 雄 一	鈴木 貞 夫	福 野 未知留	鹿 野 泰 司
			前 田 貞 子	寺 原 一 行
			荻 野 清 晴	
建設水道常任委員会	大 山 安 司	小 倉 順 子	大 泉 芳 行	川 井 貴 志
			篠 原 亮 太	池 谷 正
			服 部 清 二	
福祉環境常任委員会	瀬 戸 知英子	森 下 純 三	矢 澤 江美子	岡 部 一 正
			金 子 壮 一	朝 田 和 宏
			郡 司 伶 子	
議会運営委員会	小 倉 順 子	服 部 清 二	金 子 壮 一	林 雄 一
			鹿 野 泰 司	朝 田 和 宏
			森 下 純 三	

議会報編集委員会

令和元年9月20日から新しい委員構成となりました。

委員長 寺原 一行
副委員長 前田 貞子
委員 池谷 正
〃 岡部 一正
〃 篠原 亮太

議会報編集委員会
編集委員長就任のあいさつ

令和元年9月20日に、委員長に就任いたしました。
市民の皆様には、議会を身近に思っていたくれるような、読みやすい「議会だより」を作ってまいりたいと思っております。
よろしく願います。
（寺原 一行）

傍聴のご案内

本会議および委員会は、どなたでも傍聴することができま
す。市議会の活動にふれること
のできる身近な方法ですので、ぜひ
傍聴にお越しください。なお、定
例会は年4回開かれます。
〔令和元年第3回定例会・委員会
の傍聴者数：40人〕

市民のうごき

令和元年10月1日現在
前月比

人口 … 91,873人 (+ 19)
男 … 47,673人 (△ 2)
女 … 44,200人 (+ 21)
世帯 … 43,433世帯 (+ 46)

議会だよりは新聞折り込みでお届けしています。市役所、八潮駅、お近くの公共施設などでもお受けとりになれます。